



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 互応化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼総務部長 (氏名) 川尻 健生 TEL 0774-46-7777
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,816	3.2	457	16.8	585	35.2	540	71.4
29年3月期第2四半期	3,699	△2.9	391	6.0	433	△1.6	315	5.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 583百万円 (178.1%) 29年3月期第2四半期 209百万円 (△21.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	82.77	—
29年3月期第2四半期	48.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	16,581	14,178	85.3
29年3月期	16,258	13,857	85.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 14,142百万円 29年3月期 13,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭
 30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	2.3	800	△1.1	925	1.5	790	27.0	120.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	6,992,000株	29年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	461,582株	29年3月期	461,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	6,530,457株	29年3月期2Q	6,530,485株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、引き続き緩やかな回復基調ながらも、人手不足が顕著となり、企業活動への影響が顕在化してくるなど、不安要素も増えて参りました。世界経済においては、全体的な不透明感は緩和されつつあるものの、中国経済の下振れ懸念や、北朝鮮の動向など地政学的なリスクも払拭できず、依然として先行きは不透明な状況となっております。

この様な状況の中、当社グループにおきましては、電子材料分野において、アミューズメント関連は低調ながらも、自動車関連などそれ以外の分野は好調に推移しました。繊維分野は国内外ともに微増に留まり、化粧品分野も堅調に推移、製紙印刷分野は市場の変化の影響を受けながらも横這いの動きとなりました。その他工業用分野では、水溶性ポリエステル樹脂関連分野が国内外ともに在庫調整の影響を受けたものの、メッキ分野が好調に推移し全体として微増となりました。

また、当社グループの活動状況と致しましては「人そして地球を豊かにする」ことを実現するために、取引先様とともに「考え抜く集団」となることを目指し、今までの枠組みを超えた相互交流を行い、新たな価値を社会に提供することに取り組んで参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,816百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は457百万円（同16.8%増）、経常利益は585百万円（同35.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は540百万円（同71.4%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で繊維業界は、国内市場では、衣料向け繊維が微減となりましたが、資材向け繊維が堅調に推移し横這いとなりました。海外市場では、韓国向けが大幅に減少したものの中国市場の復調により全体として微増に留まりました。

化粧品業界は、ヘアスタイリング剤分野がやや持ち直し傾向にあり海外を含めて堅調に推移しました。また、洗剤分野及びメーキャップ分野も引き続き開発に力を入れて、徐々に採用が決まりつつあります。

製紙印刷業界は、広告媒体の変調からダイレクトメールの減少で圧着ニスが不調でしたが、パッケージ関連が堅調であったため水性プレスニスが増加し、全体として横這いの状況となりました。

その他工業用分野は、水溶性ポリエステル樹脂が国内外ともフィルムの生産調整により前年同期を下回りましたが、市場自体は拡大傾向にあります。その他、自動車関連用焼成樹脂が堅調に推移したことと、メッキ関連が、国内市場は電子基板用途が堅調、海外市場は印刷用途が好調に推移したことにより全体としては微増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は3,243百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は701百万円（同9.1%増）となりました。

(混合系製品)

混合系製品の中で電子部品業界は、国内市場ではLED用途及び自動車関連、スマートフォン向け部品市場が好調に推移しましたが、アミューズメント関連市場は低調に推移しました。海外市場ではLED用途及び自動車関連、太陽電池関連、タッチパネル用途が好調に推移しましたが、パソコン関連市場は低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は572百万円（同2.4%減）、営業利益は15百万円（同12.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は16,581百万円と前連結会計年度末に比べ、323百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ25百万円増加し11,446百万円となりました。これは、現金及び預金が165百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が166百万円、電子記録債権が33百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ298百万円増加し5,135百万円となりました。これは、無形固定資産が6百万円減少しましたが、有形固定資産が261百万円、投資その他の資産が44百万円それぞれ増加したことによるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ1百万円増加し1,850百万円となりました。これは、未払金が243百万円減少しましたが、電子記録債務が138百万円、未払法人税等が124百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ1百万円増加し553百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が1百万円減少しましたが、役員退職慰労引当金が3百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ321百万円増加し14,178百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が25百万円減少しましたが、利益剰余金が279百万円、その他有価証券評価差額金が68百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から191百万円減少し2,466百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は550百万円(前年同期比40.2%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益777百万円(同82.5%増)に対し、投資有価証券売却益191百万円(前年同期は-)及び売上債権の増加額205百万円(前年同期比459.8%増)、法人税等の支払額87百万円(同44.4%減)があったものの、仕入債務の増加額155百万円(前年同期は減少額64百万円)及び減価償却費128百万円(前年同期比14.4%減)があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は470百万円(同43.7%増)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入3,352百万円(同0.0%減)及び投資有価証券の売却による収入505百万円(前年同期は-)がありましたが、定期預金の預入による支出3,382百万円(前年同期比1.6%減)及び有形固定資産の取得による支出640百万円(同177.4%増)、投資有価証券の取得による支出304百万円(前年同期は支出額3百万円)があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は262百万円(前年同期比33.8%増)となりました。これは、主として配当金の支払額261百万円(同33.4%増)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成29年11月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」及び平成29年11月7日に公表いたしました「(再訂正)「業績予想の修正に関するお知らせ」の一部再訂正について」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,907,904	7,742,825
受取手形及び売掛金	1,759,797	1,926,781
電子記録債権	214,716	248,385
商品及び製品	671,516	617,875
仕掛品	285,417	288,321
原材料及び貯蔵品	478,683	493,433
繰延税金資産	81,350	89,097
その他	24,554	42,545
貸倒引当金	△2,863	△3,157
流動資産合計	11,421,077	11,446,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,918,500	3,928,484
減価償却累計額	△3,115,950	△3,140,698
建物及び構築物(純額)	802,549	787,786
機械装置及び運搬具	6,339,248	6,327,091
減価償却累計額	△5,921,244	△5,955,813
機械装置及び運搬具(純額)	418,004	371,278
工具、器具及び備品	998,738	1,016,539
減価償却累計額	△834,238	△858,795
工具、器具及び備品(純額)	164,500	157,744
土地	2,165,745	2,165,745
建設仮勘定	276,374	605,853
有形固定資産合計	3,827,174	4,088,407
無形固定資産		
投資その他の資産	85,159	78,198
投資有価証券	858,684	944,211
繰延税金資産	51,570	12,896
その他	24,956	21,952
貸倒引当金	△10,237	△9,954
投資その他の資産合計	924,974	969,106
固定資産合計	4,837,308	5,135,711
資産合計	16,258,385	16,581,819

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,810	524,853
電子記録債務	480,497	618,657
未払金	390,608	146,949
未払費用	12,889	2,838
未払法人税等	102,484	227,196
賞与引当金	186,963	188,017
役員賞与引当金	30,500	14,250
その他	136,288	127,316
流動負債合計	1,849,041	1,850,078
固定負債		
役員退職慰労引当金	126,643	129,691
退職給付に係る負債	425,455	423,719
固定負債合計	552,098	553,410
負債合計	2,401,140	2,403,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,316,977	12,596,267
自己株式	△404,088	△404,182
株主資本合計	13,582,879	13,862,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,033	256,803
為替換算調整勘定	50,613	25,486
退職給付に係る調整累計額	△1,724	△1,727
その他の包括利益累計額合計	236,922	280,562
非支配株主持分	37,443	35,692
純資産合計	13,857,245	14,178,329
負債純資産合計	16,258,385	16,581,819

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,699,784	3,816,759
売上原価	2,283,340	2,331,503
売上総利益	1,416,444	1,485,256
販売費及び一般管理費	1,025,042	1,027,960
営業利益	391,401	457,295
営業外収益		
受取利息	4,895	5,578
受取配当金	38,683	5,448
為替差益	—	5,815
受取ロイヤリティー	13,070	126,553
その他	3,331	2,112
営業外収益合計	59,980	145,507
営業外費用		
売上割引	5,871	5,924
為替差損	12,193	—
支払補償費	—	7,754
持分法による投資損失	—	3,355
その他	0	8
営業外費用合計	18,065	17,043
経常利益	433,317	585,759
特別利益		
投資有価証券売却益	—	191,524
特別利益合計	—	191,524
特別損失		
固定資産除却損	7,450	153
特別損失合計	7,450	153
税金等調整前四半期純利益	425,866	777,130
法人税、住民税及び事業税	104,523	234,990
法人税等調整額	3,272	441
法人税等合計	107,795	235,431
四半期純利益	318,070	541,698
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	315,337	540,508
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,733	1,189

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,906	68,770
為替換算調整勘定	△91,274	△26,574
退職給付に係る調整額	45	△3
その他の包括利益合計	△108,135	42,191
四半期包括利益	209,934	583,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,218	584,148
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,284	△258

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	425,866	777,130
減価償却費	150,611	128,853
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	78	156
賞与引当金の増減額 (△は減少)	829	1,054
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,652	3,047
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,250	△16,250
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,607	△767
受取利息及び受取配当金	△43,578	△11,026
為替差損益 (△は益)	16,654	△2,237
持分法による投資損益 (△は益)	—	3,355
有形固定資産除却損	7,450	153
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△191,524
売上債権の増減額 (△は増加)	△36,624	△205,013
たな卸資産の増減額 (△は増加)	112,246	32,217
仕入債務の増減額 (△は減少)	△64,491	155,380
未払金の増減額 (△は減少)	△25,273	7,710
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,077	△9,554
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21,918	△24,543
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,219	△15,249
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	4,525	13,490
その他	△9,880	△20,482
小計	517,742	625,904
利息及び配当金の受取額	32,181	11,721
法人税等の支払額	△157,587	△87,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,335	550,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,436,758	△3,382,195
定期預金の払戻による収入	3,352,433	3,352,337
投資有価証券の取得による支出	△3,920	△304,670
投資有価証券の売却による収入	—	505,895
有形固定資産の取得による支出	△230,882	△640,406
無形固定資産の取得による支出	△694	△453
固定資産の除却による支出	△7,286	△80
貸付けによる支出	△390	△1,135
貸付金の回収による収入	441	654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,057	△470,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△93
配当金の支払額	△195,689	△261,073
非支配株主への配当金の支払額	△654	△1,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,343	△262,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47,102	△8,936
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△178,168	△191,568
現金及び現金同等物の期首残高	2,337,189	2,657,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,159,020	2,466,074

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い等の適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成29年3月29日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成29年3月29日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,113,026	586,757	3,699,784	—	3,699,784
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,046	—	100,046	△100,046	—
計	3,213,072	586,757	3,799,830	△100,046	3,699,784
セグメント利益	643,360	17,935	661,296	△269,894	391,401

(注) 1. セグメント利益の調整額△269,894千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,243,998	572,761	3,816,759	—	3,816,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	96,802	—	96,802	△96,802	—
計	3,340,800	572,761	3,913,561	△96,802	3,816,759
セグメント利益	701,698	15,718	717,416	△260,121	457,295

(注) 1. セグメント利益の調整額△260,121千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い等の適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成29年3月29日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号平成29年3月29日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

これによる、セグメント利益に与える影響はありません。